

③腰越～津西にかけての地域課題解決

●鎌倉消防署腰越出張所の建て替えは高台へ

築50年以上経過し、かなり老朽化が進んでいます。また、現在の消防署は津波浸水地域にあるため、災害時の指示機能の確保を考慮すると、できることなら高台でアクセスのよいところに建て替えたいと考えています。



地域の方々のため、消防署員の安全のため、早急に行うべきです。

●地域センター的な、老人福祉センターの整備を

現在、老人福祉センターが県道304号沿いにあるセブンイレブン鎌倉津西店の東側（市が寄付を受けた土地）に計画されています。しかし、私は老人福祉センターを、いままでの老人だけ使う、という概念ではなくて、老若男女、多世代が集う、地域センター的なコミュニティの場にしたと考えています。

子供からお年寄りまで、多世代の人々が触れ合い、つながり、支えあい、地域で生活する人たちが集える場所です。

【経歴】1983年6月9日 腰越で生まれる。

モンタナ幼稚園

腰越小学校（少年野球：腰越Z主将/父は現在監督）

腰越中学校（野球部：市選抜・代表選手に抜擢）

鎌倉高校（野球部：投手）

日本大学（文理学部情報システム解析学科）

情報処理システムの知識を生かしIT企業へ就職

防犯団体鎌倉ガーディアンズ(代表大津定博)メンバー

資格（基本情報技術者・ソフトウェア開発技術者）

祖母(宮崎)の実家は腰越の「かご家」



腰越地域のみなさまへ！

松尾市長推薦



腰越地域特別版。

生まれも育ちも腰越。29年ずっと腰越に住んでいるから提言します。

新人29歳

ひなた慎吾の働きかけ

①地震・津波の対策

ここ腰越でも1923年(大正12年)9月の関東大震災で多くの被害を受けました。その災害状況を記した碑が腰越小学校グラウンドに建設されています。先人の方々が遺していただいた、大変ありがたい碑です。

巨大地震がいつ起きてもおかしくないと言われている今、“こころがまえ”と“準備”が必要です。

②腰越ブランドの確立

☆ 腰越地域の町おこし ☆

腰越漁港、しらす、天王祭、義経公、江ノ電、腰越海岸

③腰越～津西にかけての地域課題解決

●鎌倉消防署腰越出張所の建て替えは高台へ

●地域センター的な、老人福祉センターの整備を

発行：ひなたの杜 事務所：腰越3-23-7

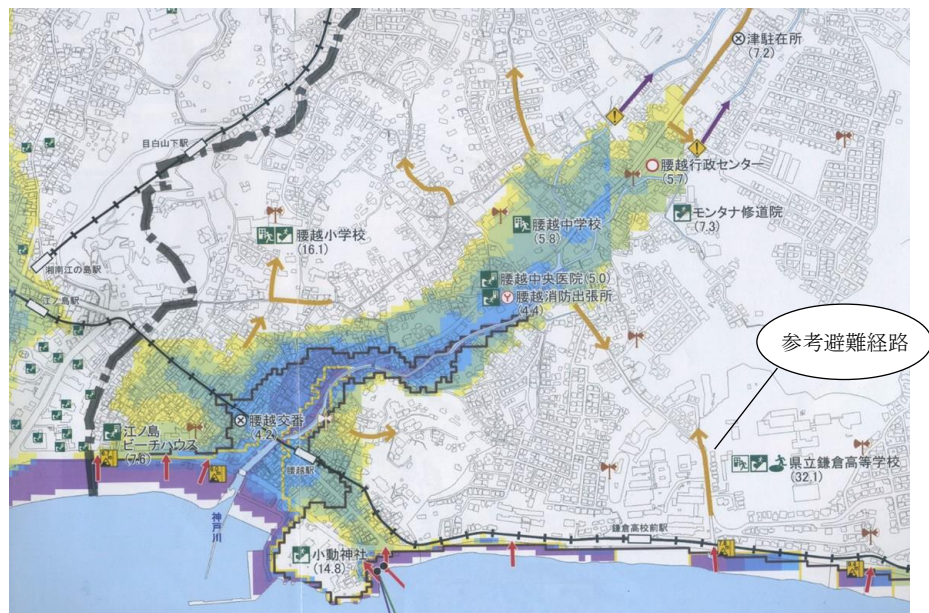
TEL：0467-39-2015/FAX：0467-32-5889 メール：hinata.shingo@gmail.com

【討議資料】

ひなた慎吾の働きかけ

①地震・津波の対策

神奈川県による関東大震災の再来を想定した浸水予想図では、腰越地域は海から腰越行政センター付近までの神戸川沿いが浸水地域となっています。



このため私は『自分の身は自分で守る。』だけでなく以下の事柄を働きかけます。

●率先避難者を地域でつくる

真っ先に安全な場所に避難する人を地域ごとに作ることで、近所の人や観光客を巻き込み、多くの人を救う事が可能になります。(東日本大震災では釜石の中学生が率先避難者となり多くの命を救いました)



●津波避難経路路面シートを設置



避難場所への行き方を道路に表示し慌てても誘導できるようにします。津波来襲時に自宅にいるとは限りません。どこにいても最も近い安全な場所へ避難できることが重要です。※現在、材木座地区のみ設置されており、腰越地域にも設置します。

●津波避難ビルの準備



津波来襲時は少しでも高い場所へ逃げるのが大事です。地元の協力を得て一時避難場所になり得る高い建物を捜し、津波避難建物と致します。

②腰越ブランドの確立

腰越漁港、しらす、天王祭、義経公、江ノ電、腰越海岸

- ・子供からお年寄りまで気軽に訪れることができ、安心できるまちづくり
- ・歩道脇に休憩できるように腰掛け設置
- ・防犯灯、足元灯の整備
- ・ホームページの立ち上げ
- ・キレイな街並み



見苦しい電線を地中化し、「腰越地域に入ると、そこは良く手入れされ、花が咲き乱れ、ごみひとつないさわやかな息吹を感じる」そんな街並みにしたいと考えています。